

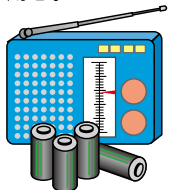
非常時持出品の準備

いざというときすぐに持ち出せるように、日ごろから準備・点検しておきましょう。

非常時持出品(例)

携帯ラジオ

予備の電池は多めに用意。



救急医薬品

常備薬(3日程度)、お薬手帳、絆創膏、傷薬、包帯、風邪薬、胃腸薬、鎮痛剤など。



貴重品

現金、預貯金通帳、印鑑、免許証、健康保険証、権利証書など。



懐中電灯

できれば1人に1つ。予備の電池も忘れずに。



非常食品 (最低3日分)

カンパン・缶詰など火を通さなくても食べられるもの、非常用食品、ミネラルウォーター、缶切り、栓抜き、紙皿、紙コップ、水筒など。



その他

下着・上着などの衣類、タオル、生理用品、大人用紙おむつ、ウェットティッシュ、合羽、ヘルメット、ライター、ラップフィルム(止血や汚れた食器にかぶせて使う)、笛、ハザードマップなど。

子どもの持出品

粉ミルク、ベビーフード(瓶詰など)、アレルギー用食品(使用している場合)、紙おむつ、おしりふき

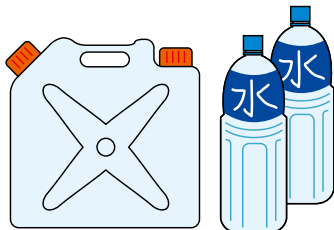
成長の早い小さな子どものために「少し先」のものを買い置きしましょう。

非常時用備蓄品(例)

非常時備蓄品は、災害復旧までの数日間(最低3日分、できれば1週間分)を生活できるように準備しておきましょう。

飲料水

飲料水は1人1日3リットルを目安に。ペットボトルや缶入りのミネラルウォーター。また、防災タンクにためておく。



非常食品

米(缶詰やレトルト、アルファ米も便利)、缶詰やレトルトのおかず、ドライフーズ、チョコレート・アメなどの菓子類、梅干し、調味料など。



燃料

卓上コンロ、ガスボンベ、固形燃料。



その他

生活用水(風呂や洗濯機に備蓄。幼児に注意して)、毛布・寝袋、洗面用具、ドライシャンプー、なべ、やかん、防災タンク(ポリタンク)、バケツ、各種アウトドア用品など。



非常時持出品は定期的に点検を!

いざというときに支障のないように、食品類の賞味期限や持出用品の不備を定期的に点検しましょう。

避難生活が長引くときに便利なもの

携帯トイレ、使い捨てカイロ、裁縫セット、ガムテープ、地図、さし、筆記用具(マジックなど)、スコップなど



大震災で役に立ったもの

ポリタンク、予備の眼鏡・補聴器、ビニールシート、新聞紙などや、補助用具としてロープ、スコップ、バールやハンマー、のこぎり、車のジャッキなど

非常時持出品は、使用するとき支障のないように、定期的に点検しておきましょう。とくに食品や飲料水の賞味期限はまめにチェックし、賞味期限がせまったものから順に入れ替えておきましょう。

睦沢町全域図

